



東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター

概要

本センターは、被災地の農業・農村の復興を先導する人材育成や、今後懸念される大規模自然災害・環境劣化・感染症等の諸課題を学際的視点から教育・研究することを目的として平成26年4月に開所しました。既存の研究領域をベースに多方面と連携しながら、従来にない新しい取組みを実践しています。研究、教育、情報の各コア3部門から成り、本研究科の教職員のみならず本学の生命科学研究科、環境科学研究科、工学研究科、情報科学研究科、医学研究科、災害科学国際研究所、多元物質科学研究所、及び東北メディカル・メガバンク機構の関係教員も加わって教育・研究を実施しています。

H26年度は当初の想定をはるかに超える社会人53名、学生・院生52名の受講生を迎え、授業及び実習を経て復興農学マイスター（CAR）として50名（学生23名、社会人27名）、IT農業マイスター（CAIT）として44名（学生19名、社会人25名）が資格を取得しました。

⇒ 東北復興農学センターホームページ <http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp>

農学研究科認定による、特色ある3つの資格



講義の様子（雨宮キャンパス）
ディスカッション形式で講義を行います。



復興農学フィールド実習の様子（岩沼市・千年希望の丘）
学生と社会人が一緒に学びます。

■ 復興農学マイスター（CAR）

震災などの災害から復興にかかわる農学および関連技術をフィールドで理解し、それらを現場で活用できる能力を磨くことを目標としています。

■ IT農業マイスター（CAIT）

農学に関連するIT技術の理解や、東日本大震災による農林水産業と農漁村の被害および復興との関わりを学び、さらにそれらを現場で活用できる能力を磨くことを目標としています。

■ 復興農学フィールドスペシャリスト

CARまたはCAITのいずれか、並びに両方を修了した者で、所定の要件を満たした本学修士の学位が認定された方を対象としています。

■ 復興農学ジュニアフィールドスペシャリスト

CARまたはCAITのいずれか、並びに両方を修了した者で、所定の要件を満たした本学学士の学位が認定された方を対象としています。

